

サミットの支援策などについて話し合う秋葉市長  
 (左から3人目) や湯崎知事 (同2人目)、大田  
 哲哉広島商工会議所会頭 (右端)



# 平和賞サミット盛り上げ

## 広島市や県 支援推進協が発足

広島市で11月12、14日に開かれる国際会議「ノーベル平和賞受賞者世界サミット」の支援推進協議会が20日発足した。同市のほか広島県と広島商工会議所、ユニタール広島事務所で構成。市役所で開いた初会合では、事業計画を確認した。歓迎機運の醸成に向け、公共施設へのポスター掲示や歓迎レセプション開催のほか、出席者に広島をPRする事業を展開する。推進協会長に就いた秋葉忠

利市長は「平和を発信する貴重な機会になる」。顧問の湯崎英彦知事も「もてなしの心でお迎えしたい」と意

気込みを語った。サミットは11回目であるが、アジアでは初。被爆65年の節目に核兵器廃絶について議論する。現時点ではゴルバチョフ元ソ連大統領やワレサ元ポーランド大統領が出席の意向を示しているという。(増田咲子)

21 July 2010, Chugoku Shimbun

The support and promotion group for the World Summit of Nobel Peace Laureates in Hiroshima has been set up on 20 July 2010 and UNITAR Hiroshima Office became one of the members.